

数学

東北大学 経済学部(理系)・理系学部

※医学部保健学科看護学専攻は除く

<全体分析>

試験時間

150 分

解答問題数

6 題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

出題範囲内から万遍なく出題される。

その他トピックス

1は文系学部**1**と共通の問題。

線分の通過領域の面積を求める問題が文系学部・理系学部のどちらでも出題されている。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	確率	数A	色付きの玉をA, Bの2人が交互に1個ずつ取り出すゲームにおける確率を求める。	易
2	三角関数 数列の極限	数II 数III	三角関数の方程式の解の個数にまつわる極限を求める。	標準
3	数列	数B	(1) 漸化式を解く。 (2) この数列の初項から第m項までの和が0になるときの初項の条件を求める。	標準
4	複素数と方程式 複素数平面	数II 数III	整式の除法と1の虚数5乗根に関する問題。	標準
5	空間ベクトル	数B	(2)(3) 四面体の頂点から対面に下ろした垂線の足についてのベクトル表示を求める。 (3) 2つのベクトルが平行になることを証明する。	やや易
6	微分・積分	数III	(1) 傾きが1となる接線の方程式を求める。 (2) 線分の通過領域を図示し、その面積を求める。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書で基礎・典型の内容をしっかりと固め、その上で、標準～やや難レベルの問題で演習を重ねていきたい。計算量や分析量の多い問題にも積極的に取り組むようにしましょう。そうした問題を最後まで丁寧にやりきれぬかどうか合否に関わってくる。